

## 平成 29 年度 鯖江市スポーツ振興計画推進委員会分科会 審議経過

## 【ひとつづくり分科会】

日時	議事概要	審議概要
6月27日(火)	第1回分科会 ・基本目標1にかか る具体的施策進捗 状況の確認 ・重点課題の抽出お よび検討	<b>意見</b> ・初心者がスポーツに入りやすい窓口が必要。機会を 与えることも大事 ・スポーツに親しむ人口を増やすことがひとつづくりで ある。 ・種目や団体、世代や年齢の垣根を越えたスポーツ環 境づくりが必要 <b>方向性</b> ・市民が、どこに行けばどんなスポーツがどのよう に行われているかを知ることのできるプラット フォームとしてのスポーツカレンダーの整備・構築
8月22日(火)	第2回分科会 ・取り組むべき重点 課題と事業提案	<b>提案</b> ・平成30年度からの事業提案として、「スポーツカ レンダーの創設・運用」を事務局提示 <b>意見</b> ・カレンダー機能をどうアピールするか工夫が必要 ・スポーツ開催情報が一元的に提供できるようになる のであれば素晴らしい。 ・着手することに意義がある。時間をかけて定着する ようになればよい。 ・カレンダーを運営していくことにより、各種団体の 情報交換の場としても期待できる。 <b>方向性</b> ・具体的な運用方針案を次回提示する。
10月16日(月)	第3回分科会 ・事業提案(まとめ)	<b>提案</b> ・スポーツカレンダーウェブサイト管理運用方針など を事務局提示 <b>意見</b> ・種目協会など団体の協力が必要 ・掲載することでクラブ加入者やスポーツ人口の増加 につながってほしい。 ・運用後の検証も必要

## 平成 29 年度 鯖江市スポーツ振興計画推進委員会分科会 審議経過

## 【まちづくり分科会】

日時	議事概要	審議概要
6月28日(水)	第1回分科会 ・基本目標2にかか る具体的施策進捗 状況の確認 ・重点課題の抽出お よび検討	<b>意見</b> ・具体的施策の進捗状況では、「高齢者・障がい者ス ポーツの充実」の評価が低い。 ・障がいのある人とない人のスポーツを通じた交流の 取組がなされていない。融合するために必要な情報 もない。 ・開かれたスポーツの場所がない。福祉とスポーツの 垣根を取り払う必要がある。 <b>方向性</b> ・市民の立場に立ち、いきがいを持ってまちに住むた めの視点から考えていくべき。
8月23日(水)	第2回分科会 ・取り組むべき重点 課題と事業提案	<b>提案</b> ・平成30年度からの事業提案として、「障がい者ス ポーツ教室開催事業」を事務局提示 <b>意見</b> ・事業の目的として、障がいのある人とない人の交流 を通じた融合を目指すことを入れてはどうか。 ・総合型地域スポーツクラブが事業主体となれば、健 常者も一緒に参加できる良い企画になるのでは。 ・機会をとらえて障がい者のスポーツに対する意識調 査をしてニーズを把握すべき。 ・市民体育大会の中に障がい者スポーツを取り入れて はどうか。 <b>方向性</b> ・委託事業とする場合の具体的な事業計画を次回提示 する。
11月7日(火)	第3回分科会 ・事業提案(まとめ)	<b>提案</b> ・委託事業を想定した「障がい児者スポーツ教室開催 事業」募集要項を事務局提示 <b>意見</b> ・興味を持ってもらい、競技人口を増やすことを前提 に実施すべき。 ・障がい者スポーツを紹介するようなイメージからス タートしては。 ・障がいのある人とない人がともに楽しめる企画を。

## 平成 29 年度 鯖江市スポーツ振興計画推進委員会分科会 審議経過

## 【システムづくり分科会】

日時	議事概要	審議概要
7月4日(火)	第1回分科会 ・基本目標3にかか る具体的施策進捗 状況の確認 ・重点課題の抽出お よび検討	<b>意見</b> ・中間評価において、指導者の育成・支援の評価が低い。指導者の視野を広げる必要がある。 ・各組織の間の垣根を取り払うことがすべての原点 ・フラットに意見の言える場所や機会があるとよい。 <b>方向性</b> ・垣根を取り払うシステムづくりのツールを具体的に提案する。
9月4日(月)	第2回分科会 ・取り組むべき重点 課題と事業提案	<b>提案</b> ・平成30年度からの事業提案として、「多様なニーズに対応できるスポーツ指導者育成研修・講座開催事業」を事務局提示 <b>意見</b> ・現実的に良い講師、指導者を招請するためには、市単位より県レベルでの働きかけが必要 ・研修や講座はあくまでアイテムとして、ネットワークを広げるためのシステムとしての方向性を打ち出すことが必要 <b>方向性</b> ・意見を踏まえた具体的な事業計画を次回提示する。
11月6日(月)	第3回分科会 ・事業提案(まとめ)	<b>提案</b> ・研修・講座に加え、指導者を登録する「スポーツリーダーバンク設置事業」を追加して事務局提示 <b>意見</b> ・生涯学習スポーツ人材バンクの登録が少ない中、リーダーバンクへの登録はうまく機能するのか。 ・指導者の指導レベルはバンクの中でどのように取り扱うのか。 ・リーダーバンクの趣旨を様々の機会を捉えてしっかりと説明すべき。 ・スポーツ推進委員との関係はどのようになるのか。